

## 平成22年度教育実践総合センター活動報告

(2011年1月31日現在)

名称：岩手大学教育学部附属教育実践総合センター

所在地：〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-33

電話：019-621-6640 (事務室) F A X : 019-621-6644 (事務室)

構成員：センター長 教授 鎌田 文聰 (fkamada, 6635) [特別支援心理学]

専任教員 教授 大河原 清 (ookawara, 6641) [教育コミュニケーション工学]

専任教員 教授 塚野 弘明 (tsukano, 6642) [認知心理学]

専任教員 准教授 立花 正男 (tatimasa, 6643) [算数・数学科教育学]

専任教員 准教授 山本 奨 (syama, 6543) [学校臨床心理学]

客員教授 佐々木壮一 (ssasa, 6686) [教育実践学]

事務補佐員 林 悦子 (chayashi, 6640)

※ ( ) 内のアドレスでは [@iwate-u.ac.jp] を, 電話番号では局番 [019-621] を省略しています。

### I 学内での年間活動状況

#### 1 学部・大学院教育

##### (1) 学部教育

専任教員4名と客員教授2名が教育実践学サブコースを担当し、所属する1年次から4年次の学生37名を教育している。主な授業を以下に挙げる。

[教育コミュニケーション工学] 等：

教育工学

教授行動論

教育方法

教育実践研究 I (前後期)

教育実践研究 A

[認知心理学] 等：

認知心理学

生涯学習情報論

教育とメディア特殊講義

教育実践研究 II (前後期)

基礎ゼミナール

[教育実践学] 等：

小規模学校教育論

教授行動論特殊講義

授業実践研究 I

[学校臨床心理学] 等：

生徒指導 (前後期)

教育臨床研究 I・II

##### (2) 大学院教育

研究科における主な授業を以下に挙げる。

[教育コミュニケーション工学] 等：

教育コミュニケーション工学特論

教育コミュニケーション工学特別演習

教育メディアカリキュラム開発

教育コミュニケーションの実践と課題

[認知心理学] 等：

認知心理学特論

認知心理学の理論と教育実践

認知心理学特別演習

授業研究・分析方法

実践演習授業分析 I・II

[教育実践学] 等：

学習指導法の実践と課題

学級経営の実践と課題

小規模・複式学級指導の実際 I・II

[学校臨床心理学] 等：

学校臨床実践論 I

学校臨床事例研究 I・II

子ども理解の実践と課題

## キャリア教育と子どもの自立支援

## (3) 研究に係る指導

卒業研究：10名

課題特別研究：3名

教職専門実地研究：3名

## (4) 就職支援活動

## 2 プロジェクト研究

教育実践総合センター専任教員・客員教員を含む教育学部教員及び外部研究協力者によって構成される以下のプロジェクトを立ち上げ研究の推進を図った。

- (1) 小規模・複式教育
- (2) 野外体験学習
- (3) 情報教育
- (4) 特別支援教育
- (5) 教育臨床
- (6) 子ども問題検討
- (7) 環境教育

## 3 発行事業

- (1) 「岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要」
- (2) 「岩手大学教育学部附属教育実践総合センターニュース」

## II 対外的な教育・研究活動状況

## 1 教育実践部門（地域連携事業を含む）

## 1-1 教員研修

- (1) 学校教育支援事業  
学力向上などをテーマとし、教育学部教員が学校現場に向いて現職教員を対象とした研修を実施
- (2) 教員のパソコン指導力向上研修事業  
教員のパソコン指導力の向上を目的とした初心者、中・上級者に対する研修会
- (3) 教職経験10年者研修支援事業（全市町村）  
夏期、冬期38講座に241名が参加
- (4) 小規模・複式学級指導支援事業  
複式公開研究会への支援、地域教育実習におけ

## る指導・支援

- (5) 体力向上支援事業（岩手県）  
小学生の体力向上を目的とした教員研修に学部教員を派遣
- (6) 免許状更新講習
- (7) 不登校対策講座  
小中学校教職員を対象に、夏季、冬季2回の講座に54名が参加

## 1-2 学生派遣（実地教育）

- (1) ボランティア・チューター（紫波町、矢巾町、雫石町）  
県内の3つの町の小学校、中学校に年間を通じて、学習指導、特別支援教育などの支援を目的として学部生を33名派遣
- (2) スクールトライアル事業（岩手県教育委員会）  
県教委と県内4大学の共同事業。学習指導、部活、行事など幅広い領域で学校支援活動を通して実践経験を積ませる目的で教員志望の1～4年生を小・中学校、盲・聾・養護学校に59名派遣
- (3) スクールトレイニー事業（岩手県教育委員会）  
岩手県教員採用試験合格者を対象とする県教委と県内4大学との共同事業。教員の業務に対する理解を深めることにより、教員としての実践力を身につけるとともに4月からの教員生活へ円滑に移行できるよう採用前の不安を軽減することを目的とする事業。採用予定者17名参加
- (4) GSIP（教員研修留学生スクール・インターンシップ・プログラム）（盛岡市）  
教育学部留学生のインターンシップ。英語の授業や国際理解教育への支援
- (5) 日本語教育支援事業（盛岡市）  
盛岡市の外国人、帰国子女に対する日本語教育支援事業
- (6) 地域教育実習（3町村）  
葛巻町、西和賀町、八幡平市の3地域に学生72名、教員8名が参加（内2名は小規模編成プロジェクトから）。小規模学校や複式学級での授業参観・研究会、子どもとの交流や地域について

- での学習などを実施
- (7) フレンドシップ事業（2市町村）  
小学生パソコン指導などを実施
- 1-3 生涯学習支援**
- (1) 教育学部出前講座  
花巻市：市民対象の5講座を実施  
釜石市：市民対象の「生涯学習講座」に教員2名派遣
- 2 教育臨床部門**
- 2-1 市町村等との協同事業**
- (1) 学校不適応支援事業
- 2-2 カウンセリング、コンサルテーション**
- (1) コンサルテーション  
対象：小中学校教職員  
件数：24件
- (2) スクールカウンセラー等配置事業に職員派遣  
巡回学校：8校  
派遣回数：38回  
派遣時間：228時間
- (3) スクールカウンセリング  
対象：教育学部附属小学校・中学校の生徒、保護者、教職員  
訪問回数：23回  
来談件数：61件
- 2-3 グループ相談・グループ活動**
- (1) 「みんなでチャレンジ」（学校不適応児童生徒に対するグループ支援）  
対象：不登校等学校不適応児童生徒及びその保護者  
開催回数：10回（毎月1回）  
参加者延べ数：101名
- 3 教員研修会・講演会・シンポジウム等**
- (1) 平成22年度第1回教員研修会  
日時：平成22年6月19日（土）13：00～15：10  
場所：岩手大学総合教育研究棟（教育系）北桐ホール
- 桐ホール  
講話：岩手の教員に期待すること  
多田英史氏（岩手県教育委員会教育室義務教育課長）  
質疑・意見交換：司会；立花正男（岩手大学教育学部准教授）  
参加者数：80名
- (2) 教育講演会  
日時：平成23年1月22日（土）13：15～16：00  
場所：岩手大学総合教育研究棟（教育系）北桐ホール  
講演：発達障がい児の在籍する通常学級の指導の在り方  
講師：中野良顕氏（東京成徳大学特任教授NPO法人教育臨床研究機構理事長）  
質疑・意見交換：司会；山本奨（岩手大学教育学部准教授）  
参加者数：150名
- (3) 平成22年度第2回教員研修会  
日時：平成23年2月5日（土）13：30～16：30  
場所：岩手大学総合教育研究棟（教育系）北桐ホール  
講義：生徒指導の現状と課題  
講師：田村忠氏（岩手県教育委員会主任指導主事兼生徒指導担当課長）  
シンポジウム：望ましい生徒指導の在り方  
パネラー：野崎祐司氏（盛岡市立桜城小学校教諭）  
三浦猛雄氏（盛岡市立下橋中学校教諭）  
山本 奨（岩手大学教育学部准教授）  
コーディネーター：立花正男（岩手大学教育学部准教授）  
参加者数：40名